

# 周南市議会だより

<http://www.city.shunan.lg.jp/section/gikai/>

平成22年  
2.15

29

発行 / 周南市議会 編集 / 議会広報特別委員会 〒745-8655 周南市岐山通 1-1 TEL0834-22-8503



審議に関心

高校生が  
本会議を傍聴

## 第10回定例会《概要》

2

徳山駅周辺整備対策特別委員会の中間報告

3

委員会レポート

4

議案の議決結果

6

一般質問

7

全員協議会を開催 / 臨時会の概要

12

徳山高校の1年生17人が、冬休みを利用して、市民に身近なテーマが審議されている市議会の現場を見ようと、12月25日の本会議を傍聴しました。

この日は第10回定例会の最終日。生徒の皆さんは、議場で行われる議論のやり取りを聞きながら、熱心にメモを取っていました。

# 基金の新設や 経済対策など 一般会計 31億8千万円増

## 定例会の概要

平成21年第10回定例会が、12月9日から12月25日まで開催されました。

今定例会では、市長提出議案39件、議員提出議案1件、陳情1件を審議したほか、一般質問には28人の議員が登壇しました。



市長提出議案は、12月9日に提案説明・質疑を行った後、12月17日・18日・21日に各常任委員会で審査しました。今回の補正予算の主な内容は、合併特例債を財源に地域振興のために新設する「地域振興基金」への積み立て12億5000万円や、国の第1次補正予算に伴う経済対策関連事業の追加9億8400万円などです。

本会議の討論では、一般会計補正予算については、徳山駅周辺整備事業の旅費増額は用地拡張案が不調に終わったため必要となつたものである。これを機会に中心市街地活性化に効果のない現在の事業計画は白紙に戻すべきであり、反対する。また、一般会計補正及び国民健康保険特別会計補正予算について、国民健康保険料の納付ご案内センター事業は、徴税業務に民間業者を介在させている。直接雇用の職

補正予算など市長提出議案39件を同意・可決

## 定例会の主な日程

12月9日 / 本会議

提案説明 質疑 委員会付託

12月11日～16日 / 本会議

一般質問

12月17日 / 常任委員会

条例議案等の審査

12月18・21日 / 常任委員会

補正予算議案の審査

12月24日 / 本会議 常任委員会

追加議案の提案説明、質疑  
委員会審査

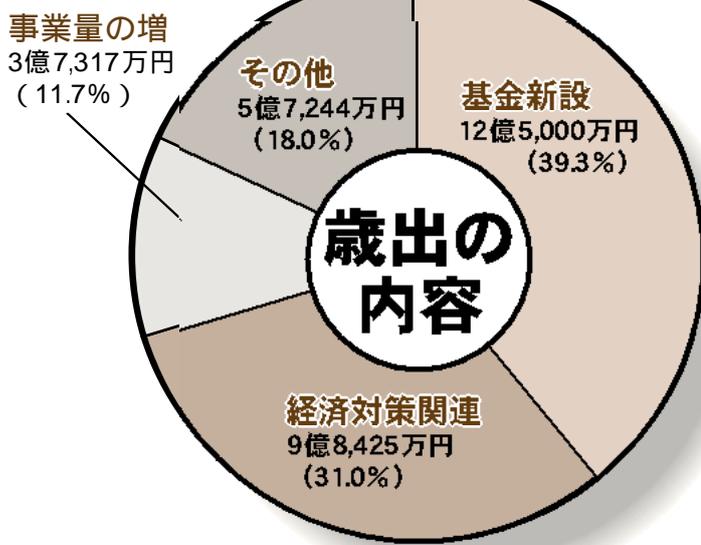
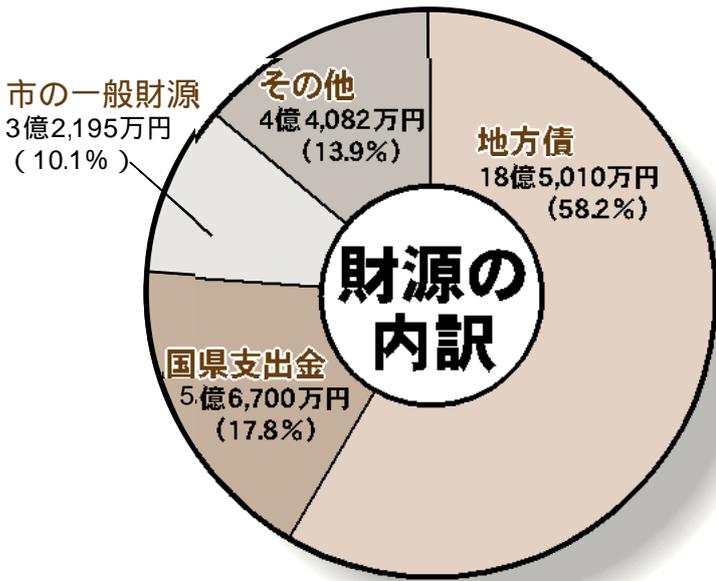
12月25日 / 本会議

委員長報告 討論 表決  
徳山駅周辺整備対策特別委員会の中間報告

円、富田中学校武道場建設事業1億5400万円、小中学校6校の太陽光発電施設整備事業1億1600万円などが含まれています。

# 一般会計 補正予算

## 31億7,986万円の中身



解説

地方債18億5,010万円のうち11億8,750万円は、歳出の「基金新設」(地域振興基金)への積立金の一部です。「事業量の増」の主なものは、介護給付・訓練等給付費負担金(2億1,356万円)です。

員で担うべきであり、反対する等の意見がありました。採決では、11件の補正予算を含む計39件の市長提出議案を同意・可決したほか、陳情1件を採択しました。

### 電源立地地域対策交付金に係る意見書を可決

電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出に関する議案が、賛同する議員、議会運営委員

の11人)から提出されました。関係市町村では、この交付金を、公共施設の整備や、診療所・保育園の運営費等に活用していますが、平成22年度末をもって、多くの関係市町村が交付期限を迎えます。意見書の内容は、この制度を恒久的なものとし、交付条件の改善と事務手続きの簡素化を要望するものです。討論では、交付金は、将来にわたって電源開発への協力を拘束するものであり、議会

から要求していくべきではなく、反対する」との意見があり、一方で「財源を確保していくためには、要望していくのが当然であり、賛成する」との意見がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

### 徳山駅周辺整備対策特別委員会の中間報告

12月25日の本会議で、12月9日に開催された徳山駅周辺

整備対策特別委員会の内容について、次のとおり中間報告がありました。

執行部から、「徳山駅周辺デザイン会議(12月7日開催)において、北口駅前広場の範囲から銀行等を外し、駅

ビルの東側に駐輪場を整備することを承認いただいた。2月に予定していた都市計画決定の時期は7月にずれ込む。平成22年度の実施計画、平成23年度の着工は予定どおり進

めたい」との報告があった。主な質疑として、「銀行等の移転の見通しが甘かったのでは」との問いに対し、「銀行等は、お客様の利便性等を総合的に勘案した結果、現在地での営業継続を望まれた」との答弁であった。

また、「駅ビル東側に予定している駐輪場の方向性は」との問いに対し、「新年度に策定する駐輪場計画の中に位置付けていきたい」との答弁であった。

# 委員会レポート

各常任委員会における議案等の審査状況は、次のとおりです。

医師不足や医師の高齢化が進む地域の診療所



## 教育福祉委員会

### 医師確保を目的に 奨学金貸付制度を制定

医師確保奨学金貸付条例の制定

この条例は、市内の指定医療機関に将来医師として従事しようとする医学生に対し、修学及び入学に要する奨学金を貸し付けることにより、医師の確保と地域医療の充実を図るもので、奨学金の限度額

は、修学資金が月額20万円、入学資金が120万円です。

質疑として、「指定医療機関を徳山中央病院まで広げると、将来従事する医療機関に偏りが出るのはないか」との問いに対し、「休日夜間急病診療所や大津島の医師の高齢のほか、徳山中央病院で

も緊急医が不足しているなど、市全体の医師不足を見据えた中で、今回の条例を提案した」との答弁でした。

また、「この制度では、効果が出てくるのが最低でも6年先であり、奨学金分を地域の診療所に来ていただけの医師の給料に上乗せするなどすれば、すぐに効果が出るのではないか」との問いに対し、「給料の上乗せについては、医師の間のバランスもあり、今回のような形での対応がよいと考えている」との答弁で

した。  
採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

「来年度に向けた改善点は」との問いに対し、「賃金増、1日の勤務時間増、1カ月の勤務日数増及び8月の長期休暇について検討中である」との答弁でした。  
採決の結果、全会一致で採決すべきものと決定しました。

## 企画総務委員会

### 徳山秋月郵便局で6月1日 から各種証明書を交付

市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定

主な質疑として、「秋月地区は市役所からの程度離れているか。また、利用者数の見込みと、事務にかかる費用は」との問いに対し、「市街地としては市役所からも支所からも一番遠い場所にある。利

用者は、平成20年度の実績から見て約3000人を想定しており、委託手数料は1件当たり約300円である」との答弁でした。

また、「トラブルに対応するための体制は」との問いに対し、「法律で、個人情報適正な取り扱いについて厳正に

対処するように定められている。また、事故が起こらないように交付事務のマニュアルを作成し、事前研修を徹底的に行う。初めは現場に職員を配置して、スムーズに事務を開始したい」との答弁でした。  
採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

### ゆめプラザ熊毛条例の制定

この条例は、ゆめプラザ熊毛の2月1日からの供用開始に伴い提案されたものです。

主な質疑として、「授乳やおむつがえができる部屋はあるか」との問いに対し、「中央ホールに授乳室、東館に子育て支援ルームなどがある」との答弁でした。

また、「現在の熊毛公民館は、ゆめプラザ整備後どうするのか」との問いに対し、「障害者のミニデイサービス・点字図書館書庫・老人クラブ事務局としての利用を検討している」との答弁でした。  
採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

現在設置されている菊川小学校の太陽光発電パネル



## 予算決算委員会

平成21年度周南市一般会計補正予算（第8号）  
主な質疑として、「今年は法人市民税が13億2000万円減少することから、減収補てん債を活用することだが、その理由は」との問いに対し、「法人市民税の決算額がマイナスになった場合、通

常なら3年に分けて交付税加算となるが、今回は財政運営上不安があるので、減収補てん債で対応する」との答弁でした。  
また、「グループホーム建設を補助することだが、本市の整備の方向は」との問いに対し、「現在の13カ所、定

員170人に対して、平成21年度から23年度までの第4期介護保険事業計画においては19カ所、定員260人まで対応できるよう整備される予定である」との答弁でした。  
また、「周陽・富田東小学校、太華・岐陽・福川・熊毛中学校に、太陽光発電パネルを設置することだが、発電量及び環境教育への活用は」との問いに対し、「電気使用料の8%程度が賄える。教育的には子どもたちが見える場所に、発電量を表示するパ

ネルを設置したい」との答弁でした。  
また、「緊急経済対策予算として、地震対応のハザードマップ作成業務委託料を優先して計上した理由は」との問いに対し、「国からの強い指導により、県内10市が作成する。平成19年度に地震マップを市民に配布しているが、より精度の高いものを作成する。市民にも防災意識を高めてほしい」との答弁でした。  
採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

議案審査のため、現地調査を行いました。



## 環境建設委員会

### リサイクルプラザ建設工事 工期を来年3月まで延長

工事請負契約の一部変更（リサイクルプラザ建設工事）  
主な質疑として、「工期延長の主な理由は何か」との問いに対し、「暫定道路となっている施設への進入路を施設内道路にすること。また、搬入車両の安全性を確保するため、2階に上がる通路を1本

から2本に変更し、動線を一方通行にすること。資源物等の貯留ヤードの作業性を考慮し、柱の本数を減少させ、鉄筋コンクリート構造を増大し、鉄骨構造部分と独立した構造にすること。さらに、地下の基礎部分に、地盤の液状化対策を施すこと。以上の変

更項目について、各関係機関や都市計画審議会との協議・調整に想定以上の日数を要したためである」との答弁でした。  
また、「これだけの変更をしても契約金額が変わらないのは、最初から高い契約金額ではなかったのか」との問いに対し、「当初から幅を持たせた金額で契約したつもりはない。増えた工事は、契約金額の中でできるよう請負業者と協議している」との答弁でした。

公有水面の埋立の免許について  
埋め立ては、市道桑原津木線の改良に伴うもので、主な質疑として、「埋め立てに当たり、環境アセスメント調査が必要ではないか。また、漁業補償はどうか」との問いに対し、「事業を行う前に環境アセスメント調査は実施済みである。また、漁業補償はないと話がついた上での事業開始である」との答弁でした。  
採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

# 議案の議決結果



市長提出議案：平成21年度補正予算	議決結果
一般会計補正予算（第8号） 31億7,986万4千円増額	可決(賛成多数)
国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 633万9千円減額	可決(賛成多数)
国民健康保険鹿野診療所特別会計補正予算（第2号） 1,478万1千円増額	可決(全会一致)
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 1,034万2千円増額	可決(全会一致)
介護保険特別会計補正予算（第3号） 488万9千円減額	可決(全会一致)
簡易水道事業特別会計補正予算（第2号） 増減±0円(予備費への組み替え)	可決(全会一致)
地方卸売市場事業特別会計補正予算（第3号） 1億1,923万3千円増額	可決(全会一致)
下水道事業特別会計補正予算（第4号） 1,119万8千円減額	可決(全会一致)
農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） 279万2千円増額	可決(全会一致)
病院事業会計補正予算（第1号） 人事異動等に伴う職員給与費の補正	可決(全会一致)
徳山モーターボート競走事業会計補正予算（第2号） 人事異動等に伴う職員給与費の補正	可決(全会一致)

市長提出議案：条例改正など	議決結果
人権擁護委員候補者の推薦について 推薦2人	同意(全会一致)
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 職員の勤務時間の改正等	可決(全会一致)
職員の育児休業等に関する条例の一部改正 育児短時間勤務職員等の制度の創設	可決(全会一致)
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 職員の勤務時間の改正	可決(全会一致)
特殊勤務手当支給条例の一部改正 育児短時間勤務職員等の制度の創設	可決(全会一致)
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正 船員保険制度の改正に伴うもの	可決(全会一致)
ゆめプラザ熊毛条例制定 「ゆめプラザ熊毛」の設置・管理について定めるもの	可決(全会一致)
財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正 行政財産を無償・減額貸付できるよう改正	可決(全会一致)
地域振興基金条例制定 合併特例債を活用した基金の新設	可決(全会一致)
執行機関の附属機関の設置に関する条例の一部改正 人権施策推進審議会の設置	可決(全会一致)
報酬及び費用弁償支給条例の一部改正 人権施策推進審議会の設置に伴い委員報酬を規定	可決(全会一致)
特別会計条例の一部改正 住宅新築資金等貸付事業特別会計、同和福祉援護資金貸付事業特別会計の廃止	可決(全会一致)
国民健康保険条例の一部改正 国民健康保険法施行令の改正に伴うもの	可決(全会一致)
医師確保奨学金貸付条例制定 市内公的医療機関の医師確保等を目的とした奨学金貸付制度の創設	可決(全会一致)
消防団員等公務災害補償条例の一部改正 消防法の改正に伴うもの	可決(全会一致)
周南地区広域市町村圏振興整備協議会の廃止について 広域市町村圏制度の国の要綱の廃止に伴うもの	可決(全会一致)
山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について 山口市と阿東町の合併に伴うもの	可決(全会一致)
山口県市町総合事務組合の財産処分について 山口市と阿東町の合併に伴うもの	可決(全会一致)
周南市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について 徳山秋月郵便局	可決(全会一致)
住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域の住居表示の方法を定めることについて 熊毛鶴見台地区	可決(全会一致)
字の区域を廃止し、又は変更して、町の区域を新たに画することについて 熊毛鶴見台地区	可決(全会一致)
工事請負契約の一部を変更することについて (仮称)周南市リサイクルプラザ建設工事	可決(全会一致)
山口県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について 山口市と阿東町の合併に伴うもの	可決(全会一致)
字の区域の変更について 鹿野大潮地区	可決(全会一致)
市道の廃止及び路線の変更について 市道の廃止及び路線の変更(2件)	可決(全会一致)
公有水面の埋立の免許について 市道桑原津木線の改良に伴うもの	可決(全会一致)
工事請負契約の締結について (仮称)栗屋学校給食センター建築主体工事	可決(全会一致)
工事請負契約の締結について (仮称)新地学校給食センター建築主体工事	可決(全会一致)

議員提出議案	議決結果
電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について	可決(賛成多数)

陳情	議決結果
学校図書館活用推進員の専任化・専門性の実現を求める陳情書	採択(全会一致)

書類提出：大津島巡航株式会社の経営状況について 報告：損害賠償の額を定めることに関する専決処分について(4件) 議会報告：例月出納検査の結果について、定期監査結果について(2件)

# Q A

# 一般質問

(要旨)

一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長など執行機関の考えや方針を問いただすものです。定例会ごとに行い、質問時間は1議員あたり60分(答弁時間を含む)です。

徳山みなとHANABIの総評を

刷新クラブ 得重謙二

**問** 10月3日に徳山みなとHANABIを開催したが、前回との大きな変更点として、徳山のんた祭りと同じ日に開催をしている。その効果はどれほどと認識しているか。また、今後の方向性は。

**答** 今回は、青森市長もわざわざ来られ、また新しい試みとしてレーザーショーも取り入れ、かなり盛り上がった。商店街も夜遅くまで協力していただき、一体的に楽しむことができた。経費削減もでき、相乗効果もあり、来年度以降も継続し、全国

ぬくもりのある地域にB級グルメの推進を

顕政会 坂本心次

**問** B級グルメとは、安くて、うまくて、地元の人に愛されている料理である。その効果としては、自らが経済的・味覚的に潤うだけではない。安心安全で新鮮な地域食材を活用すると、農林水産業の振興につながる。市民の力が必要のため、市民活動、市民協働の振興に繋がる。注目されれば観光振興につながる。人が集まれば中心市街地の振興につながる。不況の中、B級グルメの推進が有効と思

うが、どうか。食は文化である。B級グルメでも食文化の推進ができるようにしたい。

**答** 道は文化である。B級グルメでも食文化の推進ができるようにしたい。

道の駅建設へ向けて生産者の育成等はどうか

顕政会 立石 修

**問** 道の駅では、地元の農産物や後継者の育成はどの程度進んでいるのか。また、農産物の納期・品質管理やトレーサビリティ(流通履歴の確認など)について、生産者や関係者と協議しているのか。

**答** 生産者の育成は十分ではない。これから農産物の生産がさらに増えるよ

消防訓練用ナイター設備の整備を

刷新クラブ 西林幸博

**問** 毎年9月の1カ月間、消防団2分団(ポンプ車・小型ポンプ)と職員の計50人が、市野球場北側道路で、夜間に県操法大会出場に向け訓練を実施している。照明車1台、発電機6基、照明8灯を使用し、放水訓練を行っている

う、また農業の適正な使用方法等を含めて、県の農林事務所やJAとも連携をとりながら講習会や勉強会を進めていきたい。安心安全な地産地消の役割が十分に果たせるよう努めていく。

**答** 防災訓練にいい場所でもあり、設置したい。



各地の大会を勝ち抜いた消防団が操法の正確さを競い合う県消防操法大会

汚水処理施設整備構想の見直しは

至誠会 中津井求

問

平成19年に4省庁から、人口減少の社会情勢の変化を踏まえ、都道府県構想の下水道整備手法について、集合処理から個別処理へ見直しを指導する通知があった。本市では、平成22年度から5カ年計画で汚水処理施設整備構想の見直しに着手することだが、対象地域や戸数、見直しを行った場合の事業費等はどうなるか。

答

平成22年から平成26年の間に限り、合併処理浄化槽設置に対する補助金を90%上乘せする。対象は、市内全体で約350戸。事業費は集合処理の場合で31億円、個別処理の場合で7億円となる。

平成22年度における重点課題への対応は

周南会 西田宏三

問

後期基本計画の戦の、中山間地域への戦

略的対応とは。7月の集中豪雨の復旧見直しは。街の活性化に向けた施策は、目に見える取り組みと高齢者を取り込んだまちづくりを。

答

市内70%を占める有効な自然資源を活用した形で取り組みを行う。平成22年度末までに80%をやり遂げるが、一部は平成23年度にかかる。事業が国・県・市とまたがっているが、早急に行いたい。企業誘致をはじめ、産業構造の変化を見極めつつ、今後の商店街のあり方を含め、新しい感覚で取り組む。

徳山動物園のリニューアル計画は

参輝会 徳原尚一

問

徳山動物園のリニューアル計画は、大規模な改修なのか。

答

しっかりした建て替えができればいいと思っている。改修は、開園しながら、10年かけて完成を目指したい。平成22年度に測量と基本計画の策定を行い、リ

中山間地域の「収入増」に行政のてこ入れを

参輝会 長嶺敏昭

問

中山間地域振興プロジェクトが今後5年間の基本計画に最重要と位置付けられたが、この地域に暮す個人、団体の収入増を第一義とした取り組みが肝心ではないか。また、この地域の経済を動かすには民有林や市有林等の森林財産に着目すべきだ。森林組合だけでなく市内の土木建築業者にも作業道・



開園50周年を迎える徳山動物園

リニューアル事業のイメージ図模型を作製して、市民に理解していただくとともに、意見がもらえるよう提示していく。

林道敷設等の公共工事を発注するべきだが、どうか。

答

経済の視点は大変重要であり大きな柱と考えている。土木建築業者の林業参入には3m以上の基幹作業道敷設工事を来年度から発注していく。

身障者駐車場利用証 導入への取り組みは

小坂玲子

問

身障者駐車場を必要としている人たちがいる。車いすマークの駐車場を心無いマナー違反から守るため、佐賀県から全国に広がったパーキング・パーミット制度(身障者駐車場利用証)の導入はできないか。すべての市民が安心して暮らせるまちづくりのため、利用証を交付し歩行困難な人の駐車スペースを守る制度の導入について再度問う。

答

県に強く要望してきたが、前向きな回答が出た。真に必要な人の駐車場の確保に、積極的に協力していく。

福祉医療の無料継続を

新政会 土屋晴巳

問

本年度より山口県福祉医療制度が見直され、一部負担金が導入された。本市はこれを全額補てんしたが、補てん対象者数と財源は。また来年度以降も継続するのか。

答

対象者は、重度心身障害者医療が約3700人、ひとり親家庭医療が約2100人、乳幼児医療が約7900人。財源は、一部負担金補てん合計で年間約4000万円必要。社会的、経済的弱者にとって大変重要な制度と考えており、市長会等を通じて県に一部負担金を廃止するよう要望している。最終的には来年度予算編成の中で慎重に決定したい。



身障者等のための駐車スペース(市役所)

学校保護者間の連絡に  
メール配信の活用を

参輝会 岩田淳司

**問** 今回のインフルエンザ流行における緊急連絡の必要性を踏まえ、小中学校と保護者間の連絡方法の一つとして、学校側から保護者の携帯電話へメールを配信する事業に取り組んではどうか。

**答** また土日曜・祝日の罹患者把握も拡大防止に重要であり、学校でそれら緊急を要する受け付けができないか。

**問** 現在配信事業に取り組んでいる学校のノウハウを取り入れながら推進していきたい。土日曜・祝日対応の件は、学校電話に転送機能を取り入れるという方法で対応したい。

継続的な雇用拡充施策  
及び新規卒業生支援を

刷新クラブ 小林雄二

**問** 失業率が上昇し、新規就職内定率が下がっている。雇用の拡充安定化は、堅

実な社会生活の基盤であり、力を注がなくてはならない。

**答** 景気対策は、商工会議所とも話をしている。

市内就職内定率は、前年と比較して8・6ポイント下がっており、県は高校生緊急就職対策プロジェクトチームを設置したが、市は国のふるさと雇用再生特別交付金を原資に雇用創出を図っていきたい。また市では、新年度に43人の職員を採用し、新卒者枠を62%から79%に増加させ、身体障害者雇用安定に向けては2人を採用する。

市野球場の  
全面改修の内容は

刷新クラブ 田中和末

**問** 当初は、スコアボードの電光掲示板板化など、部分改修であったが、国との協議の中で全面改修の方向になっている。どの程度の改修になるのか。また、その財源は、

**答** 改修内容はユニバーサルデザインを基本に両翼を100mにするなど、この先50年使えるように全面改

修をする。財源は国と協議し、2分の1は補助が受けられる見込みで、残りは合併特別債を活用する。予算規模は大きく膨らむが、本市の実質的な負担は部分改修とあまり変わらない。



全面的な改修が計画されている市野球場

公文書管理条例の制定を

民主の会 炭村信義

**問** 平成21年6月、公文書管理法が制定された。

**答** この法律では、国の行政文書や歴史的な文書を「国民共有の知的資源」と位置付け、十分な保存管理をし、将来、保存文書で検証できることを目的

にしたものである。「自治体においても、この法律の趣旨にのっとり必要な施策を講じること」とあり、文書の作成義務や保存判断等を記した条例をつくるべきである。

**問** 法律は平成23年4月施行予定。それまでには条例化の方向で十分検討する。

**答** 法律は平成23年4月施行予定。それまでには条例化の方向で十分検討する。

市営住宅に住む高齢者の  
交流の促進を

公明党 反田和夫

**問** 市営住宅の居住者は、半数以上が65歳以上の高齢者で、周囲との交流が乏しいと聞く。そこで、団地の集会所を有効活用し、だれもが安心して暮らせる地域づくりに向け、気軽に交流できる福祉なんでも相談窓口、ふれあいサロン、声かけ活動子育てサロン、ほっと安心サロン等の取り組みはできないか。

**答** 市営住宅の集会所の利用は減っている。高齢者が元気で健康に暮らせるよう、サロン等を利用して明るい生活ができるよう取り組んでいく。

障害児ショートステイ  
事業の拡充は

公明党 金井光男

**問** 障害者を持つ家庭の負担を少しでも軽くし、なるべく多くの休養を取ってもらおうという「レスパイト」という理念・考え方は非常に重要だと思いが、ショートステイ事業の拡充の予定は。

**答** 法では身体・知的・精神障害が一つになったが、受け入れ施設は特化されているのが現状であり、知的・精神障害がある人への柔軟な対応が難しい施設もある。レスパイトという考え方での対応が必要であることは十分認識している。行政として、どこに問題があるのか、協議会等で課題を挙げていく。



市営住宅の集会所で行われているいきいきサロン(城ヶ丘3丁目)

「赤ちゃんの駅」設置で子育て支援環境整備を

公明党 森重幸子

「子育て応援宣言のまち周南」として、育児ストレスや子育て家庭の孤立を軽減するため、「赤ちゃんの駅」をまずは公共施設に、

その後は民間にも協力いただき設置し、ステッカーやのぼりで場所を周知させ、子育て中の親が外出しやすい環境を整えてはどうか。

次世代育成支援行動計画の中で、子育てに優しいまちづくりを位置付け、まずは公共施設の中でルールを設け実施する。また「赤ちゃんの駅」の設置場所については、市独自のステッカーを製作しPRしていく。

地球温暖化対策と

まちづくり

公明党 吉平龍司

温暖化対策型の商品やエコサービス購入時に、現在スーパーで実施して

いるポイント制度と同様な環境型のエコ・アクション・ポイント事業(国のモデル事業)を研究してはどうか。

日常の生活の中で市民・事業者・行政が協力して環境に配慮し、二酸化炭素削減や節電等の行動を喚起していくポイント制度は、温暖化対策の一つである。市としては、さまざまな施策をトータル的に取り組んでいく。

用語の説明

エコ・アクション・ポイント  
省エネ家電製品の購入など、温室効果ガス削減行動をした人に対して、省エネ商品等に交換できるポイントを還元する仕組み。

周南市地域防災計画はどう変わるか

至誠会 長谷川和美

災害時、地域の支所や公民館の果たす役割の重要性を見直し、情報発信機能を持たせ、正規職員を常駐させることが大切ではないか。また、他市のケーブルテレビが、地域防災に社運をかけ、自社努力で定点カメラを危険

地帯に設置し、各家庭に瞬時に知らせるシステムを実現している。本市ではなぜできないのか。地域防災に対する意識改革が、市民にも行政にも必要ではないか。

公民館と支所機能は別であり、費用対効果の面からも、システムを取り入れる考えはない。

病气など特別の事情があれば国保証の交付を

病气など特別の事情があれば国保証の交付を

日本共産党 藤井直子

国民健康保険料を滞納すると、保険証から資格証明書にかわり、病院の窓口で医療費を全額払わなければならない。本市は控え、重症になる。本市は資格証明書の発行が900世帯と県下で一番多く、県全体の3分の1にもなる。厚生労働省は、資格証明書世帯から病气などの特別の事情で交付申請があれば、保険証を交付するよう通達を出しているが、通達どおりに交付するのか。

厚生労働省の方針に従って対応していく。

子育て環境充実のために「赤ちゃんの駅」設置を

周南会 井本義朗

赤ちゃんを連れれた母親が外出する際、おむつ替えや授乳ができる場所を提供する施設を「赤ちゃんの駅」として認定し、ステッカーやのぼりなどで入り口に分かりやすく表示するという事業が全国の自治体で行われている。本市も赤ちゃんと一緒に安心して外出できる環境づくりのため、「赤ちゃんの駅」に取り組んでどうか。

今ある施設の有効利用という視点から、一定

合併特例債事業の今後の見通しと財政計画は

顕政会 古谷幸男

今年度末までに約160億円の合併特例債を活用することになっている。残り270億円の合併特例債の活用は財源確保に必要と考えるが、後期基本計画にどこ

の基準を示して見直しを行う方向で、しっかりと取り組んでいく。



北九州市役所にある「赤ちゃんの駅」とシンボルマーク



まで活用し、新規分としては何があるのか。また、財政計画の見直しはどうか。

新規分として道の駅、学び・交流プラザ、動物園、防災行政無線、継続分として学校給食センター、中学校屋体建設・耐震化、徳山駅周辺整備など。財政計画は、残りの合併特例債全部を使うと推計を立てている。

鹿野地区に障害者就労  
継続支援事業所開設を

民主の会 高松勇雄

市内のハンディキャッ  
プがある人（障害者）

に対応する地域活動支援セン  
ターや就労継続支援事業所の  
現状は。また、「コアプラザか  
の」の空き部屋や空きスパー  
スに就労支援事業所等を設置

県との事前協議で  
土石流被害の防止を

周南会 久保忠雄

7月の集中降雨で、各地  
に甚大な被害が発生し

た。小松原小深の砂防工事は  
は、事前に県と地元が綿密な協  
議をするべきだった。排水路の  
工事を先に行えば、土石流の被  
害は食い止められたと思うが、  
どうか。兼清川の災害も同じこ  
とがいえるのではないか。

砂防工事に起因した災  
害、工事現場からの土

石流による被害は、再発防止  
に向けて、県と綿密な協議を

できないか。

支援グループからの要  
望を受け、「コアプラザ

か」の1階ホールの一部を利  
用し喫茶コーナーが運営でき  
るよう協議を進めている。実  
績を重ねる中で就労支援事業  
所を設置する方向性が出てき  
た場合は、利用規模や施設  
長、指導員等の諸条件もある  
ので、県と連携しながら市も  
応援していく。

行いながら調整している。兼  
清川の敷力所の被害も、護岸  
崩壊が下流の排水路で発生し  
ている。早期の復旧に向けた  
取り組みを行う。

統廃合ありきでなく  
多様な視点で検討を

日本共産党 形岡 瑛

小規模校の子どもが弱  
いというのは、一面的

ではないか。統廃合ありきで  
はなく、多様な視点で、教育  
に不安のないようにするの  
が、行政のなすべきことでは  
ないか。

「小規模校の子どもは  
弱い」というのは、教

員だった自分の体験によるも  
ので、やや一面的に過ぎた面  
もあり反省をしている。教育  
委員会には、社会状況が変化  
する中で教育環境の充実を図  
る責務がある。関係者の意見  
を十分尊重して、学校の適正  
配置についても最終的には判  
断していく。

単価引下げで悲鳴  
労働者の賃金確保を

日本共産党 中村富美子

公共事業で、予定価格  
と応札額の差が1億円

以上ある建築工事があった。

これでは、工事に携わる下請  
け業者や孫請け業者にしわ寄せ  
がきて、賃金が低く抑えら  
れる。公的事業で利益を得て  
いる企業は、労働者に人間ら  
しい労働条件と賃金を保障す  
べきで、発注者である市は、そ  
れを保障する責任がある。公  
契約条例の制定はできないか。

建設労働者等の労働条  
件の確保については、  
国が法律で定めるものであ  
る。市としては、運用で注意  
をしていく。

二酸化炭素削減の  
現状と今後は

参輝会 青木義雄

政権交代して、与党  
は、二酸化炭素削減の  
数値を2020年までに19  
90年比で25%、2005年  
比で33.3%削減するという  
目標を示した。これを受け  
て、本市の二酸化炭素排出量  
の現状と、今後の削減対策に  
ついての数値目標の設定や政  
策の再構築の必要性は。

本市の二酸化炭素排出  
量は、平成14年以降は

調査されていない。この現状  
を改めるべく来年度中には最  
新の数値を出す。それをもと  
に早急に数値目標を立て、大  
手企業や各方面と協力して排  
出削減に取り組む。

市長の政治姿勢を問う

至誠会 兼重 元

民主党政権は、陳情要  
望等の党一元化を図つ  
ている。市長の見解は。

新聞に「市民利益のた  
め、今後も独自のルー  
トを頼りに東京に陳情に行  
く」と申し上げた。国の政治  
は、一党のためにあるのでは  
ない。国民と次の世代の子ど  
もたちのためにある。私は15  
万市民の代表として堂々と意  
見を開陳して、民主党県連  
ルートを最優先にしながら  
も、自民党、公明党、共産党を  
問わずお願いしていく。私の  
先輩、後輩を含め、それなり  
のネットワークもあるので、  
今後もしっかりやっていく。



砂防工事の土砂が用水路から流れ込  
んだ田の周辺(三丘・小松原)



# 全 員協議会を開催

将来のまちづくりについて質疑



12月25日、議員全員協議会を開催し、今後5年間のまちづくりの基本方針となる「まちづくり総合計画後期基本計画(案)」、「第2次行財政改革大綱(案)」、「健全財政推進計画(案)」について、執行部から説明を受けました。

各議員は、「人口目標をこれまでどおり16万人とするのか」、「重点推進プロジェクトに高齢者福祉・障害者福祉の位置付けがされていないのはなぜか」等、さまざまな視点から質疑を行いました。

## 臨時会の概要

第8回臨時会が10月29日に開催され、平成20年度の決算認定など4議案が審議されました。

また、第9回臨時会が11月30日に開催され、市職員の期末勤勉手当等を引下げる議案が審議されました。

### 第8回臨時会の審議結果

平成20年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定	認定(賛成多数)
一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)
工事請負契約の締結(和田中学校屋体改築主体工事)	可決(全会一致)
動産の買入れ(議場音響及び映像設備)	可決(全会一致)

### 第9回臨時会の審議結果

一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決(賛成多数)
-----------------------	----------

## 市議会からのお知らせ

### ■ 議会を傍聴しませんか

市議会では、市民生活に関係がある重要な問題を審議しています。すべての会議は公開で行われます。

傍聴席入口の受付簿に住所と氏名を記入していたら、どなたでも傍聴できます。

#### 3月定例会の予定

3月 2日(火)	本会議	施政方針
3月 3日(水)	本会議	
3月 4日(木)~ 5日(金)	常任委員会	
3月 8日(月)~ 11日(木)	本会議	(一般質問)
3月 12日(金)~ 18日(木)	常任委員会	
3月 25日(木)	本会議	

本会議・委員会は午前9時30分から開催されます。(ただし、3月11日は午後1時から)

土・日曜日は休会です。

日程の変更はホームページ等でお知らせします。

### 編集後記

周南市議会では、本会議の様子をケーブルテレビで公開していますが、音響・映像機器の老朽化で放送に支障が出ていました。

このたび、議場の機器を更新し、3月定例会からは、よりクリアな画像と音声をお届けできるようになりました。また、議場に大型ディスプレイを設置し、傍聴席から見えにくかった議員席の様子も、間近に見ることが出来ますので、ぜひ傍聴におこしく下さい。

### ■ 市議会ホームページ

<http://www.city.shunan.lg.jp/section/gikai/>  
議員名簿や議会の活動状況、会議の日程・テレビ放送の予定などを掲載しています。  
本会議や委員会の会議録が閲覧できます。  
「議長室(議長の動き)」を公開中です。

#### 市議会携帯サイト

<http://www.city.shunan.lg.jp/hp/gikai/mobile>  
右の2次元コードを読み取るか、アドレスを入力してください。



### ■ ケーブルテレビ議会中継

本会議の様子を実況放送しています

放送の日程は、左の「3月定例会の予定」のとおりです。一般質問は、再放送も行っています。

委員会の様子を録画放映しています

委員会の審査の様子を2時間程度にまとめた番組を放送しています。放映の日程は、ホームページでお知らせします。

.....  
C C S.....11ch  
K ビジョン.....16ch  
メディアリンク..... 5 ch・9 ch

周南市はISO14001の認証を取得しました。

